

公益財団法人 日本芸術協会 主催 ヴァイオリン マスタークラス

～ピアノ・ヴァイオリン 同時開催～

【会期】

中村ゆかりクラス (8名)

2025/5/12(月)～5/16(金)

植村理葉クラス (8名)

2025/5/19(月)～5/23(金)

※ピアノクラスの詳細は①、②ページに記載しております。

【内容】

- ・講師と1対1でのレッスン (50分×4回～程度)
- ・受講者に対し特別講義を実施
- ・最終日に記念演奏会を予定
- ・植村理葉クラスを受講の場合、記念演奏会に際して希望者はピアノとの共演が可能です
※受講人数によって内容が変更する場合がございます

【申し込み方法】

HPに記載の応募要項を確認し、エントリーフォームよりお申込下さい。

日本芸術会館 HP
<https://www.art-center.jp/kobe/geikan/>
エントリーフォームURL
<https://form.os7.biz/f/d74ff7a5/>

【募集締切】

中村ゆかりクラス 2025/4/28 (月)

植村理葉クラス 2025/5/7 (水)



軽井沢芸術倶楽部 QR



エントリーフォーム QR



地図

公益財団法人 日本芸術協会 主催 ピアノ マスタークラス

～ピアノ・ヴァイオリン 同時開催～

【会期】

純子マッサーリアクラス (8名)

2025/5/7(水)～5/11(日)

近藤由貴クラス (8名)

2025/5/19(月)～5/23(金)

※ヴァイオリンクラスの詳細は③、④ページに記載しております。

【内容】

- ・講師と1対1でのレッスン (50分×4回～程度)
- ・受講者に対し特別講義を実施
- ・最終日に記念演奏会を予定
- ・近藤由貴クラスを受講の場合、記念演奏会に際して希望者はヴァイオリンとの共演が可能です
※受講人数によって内容が変更する場合がございます

近藤由貴

第26回日本ピアノコンクール金賞受賞

純子マッサーリア

第22回日本ピアノコンクール金賞受賞

国内でも有数の避暑地、軽井沢に所在する「軽井沢芸術倶楽部」にて、音楽家同士の研鑽・交流の場を提供する為、「ピアノ・マスタークラス」を開講いたします。

雄大な自然に囲まれた最高の空間で音楽と真摯に向き合うひと時を過ごしてはみませんか。

【受講料金】

45,000円 (税込)

※全期間の宿泊食事代込み
※東京-軽井沢間の交通費全額支給

【お問合せ】

「マスタークラス運営事務局」宛て
TEL:078-599-6392 (10:00-17:00) ※月曜定休
MAIL: jartforum@gmail.com

【会場】

軽井沢芸術倶楽部
〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉3607-1
中軽井沢駅より 徒歩9分
TEL: 0267-45-2001

【主催】

公益財団法人 日本芸術協会
日本芸術センター
日本芸術会館

【申し込み方法】

HPに記載の応募要項を確認し、エントリーフォームよりお申込下さい。

日本芸術会館 HP
<https://www.art-center.jp/kobe/geikan/>
エントリーフォームURL
<https://form.os7.biz/f/7856719e/>

【募集締切】

純子マッサーリアクラス 2025/4/28 (月)

近藤由貴クラス 2025/5/7 (水)



軽井沢芸術倶楽部 QR



エントリーフォーム QR



地図



中村ゆかり
Yukari Nakamura

植村理葉
Rie Uemura



国内でも有数の避暑地、軽井沢に所在する「軽井沢芸術倶楽部」にて、音楽家同士の研鑽・交流の場を提供する為、「ヴァイオリン・マスタークラス」を開講いたします。

雄大な自然に囲まれた最高の空間で音楽と真摯に向き合うひと時を過ごしてはみませんか。

【受講料金】

45,000円 (税込)

※全期間の宿泊食事代込み
※東京-軽井沢間の交通費全額支給

【お問合せ】

「マスタークラス運営事務局」宛て
TEL:078-599-6392 (10:00-17:00) ※月曜定休
MAIL: jartforum@gmail.com

【会場】

軽井沢芸術倶楽部
〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉3607-1
中軽井沢駅より 徒歩9分
TEL: 0267-45-2001

【主催】

公益財団法人 日本芸術協会
日本芸術センター
日本芸術会館

講師紹介

純子マッサリア 第22回日本ピアノコンクール金賞

7歳よりピアノを学ぶ。
ルーマニア国立トリグムレシュ管弦楽団の招聘ソリストとしてシベリヤ国際音楽祭へ出演。
「知的で、構築感を兼ね備えたピアニスト」と好評価を受けて、ルーマニア国際放送やラジオ、新聞紙上で紹介される。

これまでに15の国際コンクールにおいて優勝、入賞。1998年イタリア共和国大統領賞を受賞。
第4回東京芸術センター記念ピアノコンクールにおいて金賞、ならびに記念センター賞、翌年 Awards of the Year 2009受賞、第22回日本ピアノコンクール、第10回神戸ピアノコンクールをそれぞれ金賞受賞。

欧州オーケストラソリストとしてこれまでにベートーヴェン、ショパン、シューマン、リスト、チャイコフスキー、サッサーズ、ラフマニノフ、トルナーナなどのピアノ協奏曲ならびに狂詩曲ソリストを務める。

ほかイタリア、フランス、スロヴェニア、ルーマニアにおける国際音楽祭への出演、コンクール審査員、国際夏期講習会などに招聘され、現在は後進指導にも力を注いでいる。
純子マッサリアの演奏は、その深い読譜力と構成力、既定概念から外れることを恐れないアプローチが特徴である。また現代作品においては多くの世界初演をひきうけその作品のCD制作にも携わった。

またイタリア国立放送局RAIクラシック音楽専門ラジオでも彼女の演奏が定期的に紹介されている。
イタリア在住。

近藤由貴 第26回日本ピアノコンクール金賞

明和高校音楽科を経て東京藝術大学、パリ市立音楽院卒業。パリ・スコラ・カントルム音楽院にてコンサート・ディプロムを取得。

テレサ・リャーナ国際コンクール(仏)、プレスト国際コンクール(仏)、スクリャーピン国際コンクール(仏)、ピアノレ国際コンクール(独)、日本モーツァルト音楽コンクール、東京芸術センター記念ピアノコンクールにおいていずれも第1位を受賞。

その他国内外のコンクールにて数々の入賞を重ね、日本芸術センター年間最優秀ピアニスト賞を2回受賞。

2024年、第26回日本ピアノコンクール金賞。

9年間フランスに在住し、ヨーロッパ各地にて多数のコンサートやフェスティバルに出演。

パリ・マドレーヌ寺院にてパドローオーケストラ、イギリスにてBridgewater管弦楽団と共に演奏した他、フランス国際テレビに出演。

これまでに申根順子、杉浦日出夫、幸島輝治、東誠三、須田貞美子、オリヴィエ・ギャルドン、ユージン・インジック、ガブリエル・タッキーノの各氏に師事。

2016年、オランダ・エトセトラレコードより、2019年、2020年にフランス・SolsticeレーベルよりCDを発売。



施設紹介



豊かな木々に囲まれた建物



昨年のマスタークラスの様子

講師紹介

中村ゆかり Yukari Nakamura

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業後、福祉、バリエコルノルマル室内楽科の音楽院最高演奏家資格取得、パリ市立音楽院を満場一致の首席卒業後、パリ国立高等音楽院首席入学生、修士課程を経て卒業。

江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第2位、ザルツブルクモーツァルト国際室内楽コンクール最高位、日本ヴァイオリンコンクール銀賞、江川新入コンクール第1位、東京芸術センターコンクール銅賞、神戸芸術センターコンクール銀賞、サンハート アンサンブルオーディション最優秀賞、他多数受賞。

アンサンブル指揮者としてフランス放送フルハーモニー管弦楽団の首席奏者としてサルブレイエール定期演奏会に出演。イダエンテルのマスタークラス受講。サルコルトー(パリ)にてリサイタル出演。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校の周年記念演奏会のソリストに選抜。フランスのCD会社カシオベから『ヴァリエスのヴァイオリンソナタ』、(株)ウエストミンスターより1stアルバム『Harmonie アルモニ』をリリース。このアルバムがレコード芸術にて準特選盤受賞。

長野市芸術館クラシックキャリアプラン第一期登録アーティスト。桐朋学園大学音楽部附属の非常勤講師を経て、現在は演奏活動の傍ら、八王子ユースオーケストラの指導や後進の指導、アウトリーチにも注力。

2020-2021公益財団法人日本芸術協会奨学生。
神奈川フィル、マッシーオペラ管弦楽団、江戸川フィル、藝高同窓会記念オーケストラと共演。

映画『のだめカンタービレ 巴里編』の水川あさみの吹奏役に出演。これまでに、篠崎功子、田中千香土、シルヴィー・ガゾー、ジェラルド・ブルーに師事。

使用楽器は、(株)メイプルより貸与されているトマソ・バレストリエリ。



植村理葉 Ryo Uemura

全日本学生音楽コンクール小学生の部全国4位、日本音楽コンクール第2位およびナミチ賞・新日鉄音楽賞フレッシュ・アーティスト賞を受賞。ミケランジェロ・アバド国際コンクール優勝。レオポルト・モーツァルト国際コンクール最高位およびモーツァルト特別賞受賞。

桐朋女子高等学校音楽科を卒業後、ケルン音楽大学でイゴール・オジム氏に師事し、文化庁芸術家在外研修員(3年派遣)として研鑽を積む。最優秀成績で卒業後、ローザン音楽院にてローム ミュージック ファンデーションの奨学生としてビエール・アモイヤル氏に師事し、首席で卒業。国内では鈴木其子、小林健夫、和波孝裕、千本芳恵の各氏に師事。

ソリストとしてヨーロッパ各地のオーケストラと30回以上共演。ケルン室内オーケストラ、ブラハシアン・アカデミー、ハレ・フォルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルク・カメラータ、ローザン室内管弦楽団などの定期演奏会でコンツェルトを演奏し、満座を得る。また、サンクトペテルブルク、フランス、ドイツの音楽祭、草津国際音楽アカデミー&フェスティバルに招かれるほか、ウランハートルで客演し、モンゴル国立音楽舞踊大学のマスタークラス講師も務める。

国内では、毎日新聞主催「毎日リッスン」に出演。パッハ《無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータとソナタ》、ブラムスおとよびベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏を行う。また、朝日カルチャーセンターでモーツァルトおとよびベートーヴェンのソナタシリーズの講師を務めた。ピュリス弦楽四重奏団を主宰し、ベートーヴェン弦楽四重奏全曲演奏会を開催。

ドイツ・ソニーからシューマンのヴァイオリン協奏曲をリリース。カメラータ・トウキョウよりリリースされた『ラヴェル:ヴァイオリン・リカター・フランス・ヴァイオリン作品集』および『フォーレ:ヴァイオリン・ソナタ2つのための作品集』は、「レコード芸術」「音楽現代」などで特選盤に選ばれ、高い評価を受ける。毎年「植村理葉ヴァイオリン夏期講習」を開催し、後進の指導にも力を注いでいる。www.ryo-uemura.com

施設紹介



落ち着いた雰囲気のエントランス



1階ラウンジでの演奏会